

小児慢性脳死と遺体観、子ども観

渡部誠一先生

土浦協同病院小児科、土浦協同病院附属看護専門学校長
筑波大学非常勤講師

令和3年5月20日（木）18:30～20:30
ウェブセミナー（オンラインでの開催となります）

慢性脳死（長期脳死）は小児に多く、その受容には家族支援が大切である。臨床的脳死状態から180日以上生存した症例から、家族の苦悩と受容、その後の家族の行動と家族間の問題などを振り返る。また、小児慢性脳死と日本人の遺体観、子ども観の関連について文献的考察を行う。

今回の勉強会では、土浦協同病院の渡部誠一先生に「小児慢性脳死と遺体観、子ども観」の演題で、お話していただく予定です。ウェブセミナー受講希望の方は、5月13（木）までに下記QRコード・URLからお申し込み下さい。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位が取得できます。また人間総合科学学術院専門基盤科目とフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（プライマリ・ケア）の一部となっています。

【申込みフォーム】

<https://forms.gle/Yj5WtvZt9UePNwW88>



連絡先：筑波大学医学医療系 福祉医療学
柳 久子 TEL&FAX：029-853-3496